

保育社の原色図鑑 8

原色日本海岸動物図鑑

京都大学瀬戸臨海実験所

理学博士 内海富士夫 著

COLOURED ILLUSTRATIONS
OF

SEASHORE ANIMALS OF JAPAN

BY HUZIO UTINOMI

改訂 9 刷

保育社

1965

(初版1956)

HOIKUSHA

20, 1-CHOME UCHIKYUHOJI-MACHI,
HIGASHIKU, OSAKA, JAPAN



1. アナジャコ $\frac{3}{8}$



3. オキナワ
アナジャコ $\frac{1}{4}$



2. ハルマンスナモグリ $\times 1$



4. コマチコシオリエビ $\times 1$



5. トウヨウコシオリエビ $\times 1$



6. オニヤドカリ $\frac{3}{8}$



7. オイランヤドカリ $\times 1$



8. イシダタミヤドカリ $\frac{3}{8}$



9. ソメンヤドカリ $\frac{1}{2}$



10. コモンヤドカリ $\frac{1}{2}$

異 尾 類 *Anomura*1. アナジャコ *Upogebia major* (de Haan) [Callianassidae]

甲殻は概して軟かく、前端に粗毛をかむる短かい額角を具えている。第1脚は不完全な鋏を有し、左右相称。頭胸甲は上からみるとほぼ三角形で、腹部の半分よりも長い。体長は9 cm に及ぶ。内湾の砂泥地に深い穴を掘って棲んでいる。おとりを穴の入口におき誘い出して捕らえ、タイ釣の餌とする。分布：北海道以南本邦各地。

2. ハルマンスナモグリ *Callianassa harmandi* Bouvier [Callinassidae]

体は軟かく、体長4 cm 位。頭胸甲は幅狭く、腹部の約3倍の長さを有し、前額は丸い。第1鋏脚のいずれかが大きく、その爪の内縁には大きな歯がある。その基部は他脚と同様の太さで、細い。第2脚も鋏脚となっているが、第1脚よりも小さく、第3・第4脚の前節は円板状、第5脚は先が小さな鋏となる。体色は黄白色で、大形の鋏は淡紅色を帯びる。海岸の砂地に穴を掘って棲む。分布：本邦各地。

3. オキナワアナジャコ *Thalassina anomala* (Herbst) [Thalassinidae]

体長15~20 cm に及ぶ大形種。甲殻頗る固く、左右不同の強大な鋏脚をもつ。額角はわずかに尖り、その後方に赤褐色の大きな斑紋がある。腹節はほとんど等長で、いつも下方に折りまげている。熱帯地方の紅樹林沼沢地に高く泥を盛り上げ、その中に穴を掘って棲む。孔道の大なるものは直径7 cm に及び、その孔も単一ではなく、数回分岐し、その口も泥の山で蓋されている。分布：奄美大島、琉球；印度太平洋。

4. コマチコシオリエビ *Galathea elegans* Adams et White [Galatheidae]

額角は非常に長く、長三角形を呈し、頭胸甲の長さ位ある。鋏脚は左右相等しく、甲長の1.5倍より少し長い。腹部は常に頭胸部の下面に屈折。甲背は一般に黄褐色地に2~3条の黒紫色の縦帯が全長にわたる。時には黒紫色地に2本の細い黄色の縦帯あるもの、或は一様に暗赤褐色を呈する等の変異も見られる。甲長12 mm に達する。常にウミシダ類と共棲する。分布：相模湾以南の南日本沿岸；マレー群島、ミクロネシア、印度洋、南アフリカ。

5. トウヨウコシオリエビ *Galathea orientalis* Stimpson [Galatheidae]

本邦で最も普通に見られる‘ガラテア’である。額角は頭胸甲前縁の中央部に突出し、その両側に3歯を具える。腹部各節には横皺のみあって、棘はない。鋏脚は左右同大で、細く、体長よりもはるかに長い。体長は1 cm 内外、鋏脚の長さ約1.5 cm。浅海より200 m 迄の海底に棲む。分布：相模湾以南の南日本沿岸、琉球列島、小笠原。

6. オニヤドカリ *Aniculus aniculus* (Fabricius) [Paguridae]

サザエ等の貝殻にはいつている大形のヤドカリ。体は赤紫色で、脚部では緑青色をまじえる。鋏脚や2対の歩脚には明瞭な横溝が刻まれ、赤茶色の毛が列生する。鋏脚